

山口県歯科医師会とライオン株式会社共同での実証実験 『おくち育 噛もっと!』のグミ、ガムを使用した教育プログラムで児童の噛む力が向上

ライオン株式会社(代表取締役兼社長執行役員:竹森 征之)は、「健口スマイル推進事業の展開に関する連携協定」を締結する公益社団法人山口県歯科医師会(会長:小山 茂幸)と共同で、2023年10月から12月まで山口県内の小学校3校(167名)を対象に、グミやガムを活用して児童の噛む力を育む教育プログラム「もったかもっとチャレンジ」の実証実験を実施しました。

小学校で児童たちに噛む力を育む大切さの授業を実施した後、それぞれ自宅で30日間、弾力のあるグミを食べて噛む力のトレーニングを行った結果、児童たちの噛む力が顕著に向上することがわかりました。さらに、実証実験に参加した3校のうち山口市立小郡小学校では、2023年12月15日(金)に山口県歯科医師会の小山会長が、動物の歯の標本や『噛もっと!ガム』を使いながら、噛むことの大切さを伝える授業を行いました。

今後も当社は、山口県歯科医師会と共同で、「健口スマイル推進事業」を通じて、学校から家庭、職場における口腔ケア意識を定着させ、健康寿命の延伸を応援して参ります。



「もったかもっとチャレンジ」授業の様子

■「もったかもっとチャレンジ」概要

「もったかもっとチャレンジ」は、弾力のあるグミを1日2枚を目安に食べて噛む力をトレーニングし、ガムで噛む力をチェックする「噛む力育成プログラム」です。30日間グミを1日2枚を目安に摂取してもらい、2色のガムの混ざり具合にて噛む力のレベルを確認します。摂取前との差を変化量としてそれぞれ算出しました。

【対象】山口県内の小学校3校の1-2年生(167名)

【配布物】『おくち育噛もっと!』の「グミ」「ガム」※1、トレーニング記録シート、記録用シール等



※1 オンラインショップ限定販売

■ 検証結果

1. 参加児童の噛む力が向上。トレーニング実施日数が多いほど噛む力がより高まる！

児童たちに噛むカレレベルを自己チェックしてもらった結果、噛むカレレベル変化量は、実証実験期間中に噛む力のトレーニングに取り組んだ日数が多い児童ほど、噛む力が向上する傾向が認められ、トレーニング日数 15 日以下の児童の変化量が平均 0.3 向上したのに対し、30 日間継続した児童では変化量が平均で 1.0 向上しました(図 1)。また、噛むカレレベル変化量は、全体平均で 0.8 向上していました(n=167)。

児童たちに事後アンケートで感想を聞いたところ、「美味しかったし、楽しかった!」、「毎日グミを食べて噛む力が強くなったと思う」などがあげられ、楽しく前向きに噛む力をトレーニングできたと好評でした。

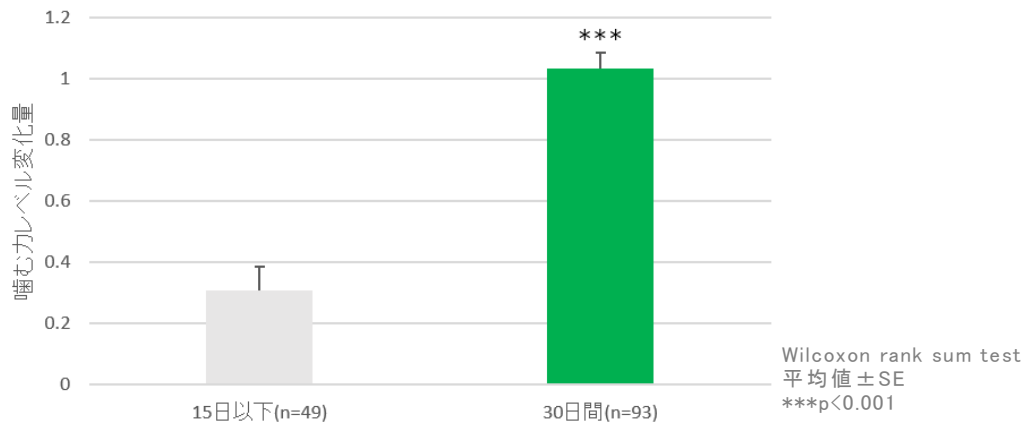


図 1: トレーニング実施日数と児童の噛むカレレベル変化量の比較

2. 口腔機能を鍛えることで、「よく噛む」「口を閉じて食べる」ように習慣が変化！

保護者に事後アンケートで食習慣の変化について尋ねると、普段の食事では噛む回数が少ないと思っていた児童の保護者のうち、52%が実施後によく噛むようになったと思うとの回答でした(図 2)。

また、普段の食事では口を閉じずに食べることがあると思っていた児童の保護者のうち、52%が実施後に口を閉じて食べるようになったと思うとの回答でした(図 3)。

保護者の感想を聞いたところ、「おやつ感覚で食べられて噛む力を鍛えられるので、楽しく取り組めていいなと思った」、「しっかり噛むことを意識してほしかったので、今後もこのような機会を学校を通して行なってほしい」などがあげられ、手軽に楽しく噛む力を育む習慣がつかれると好評でした。

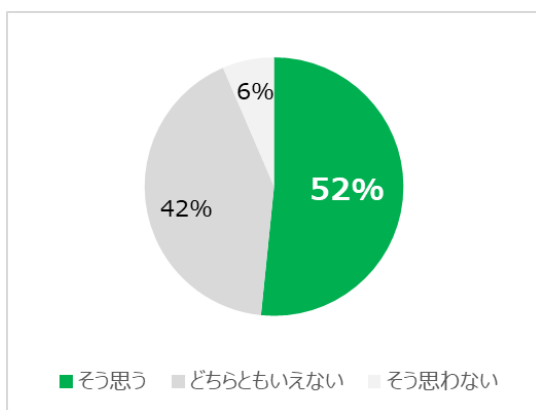


図 2: よく噛むようになったと思う保護者の割合 (n=31)

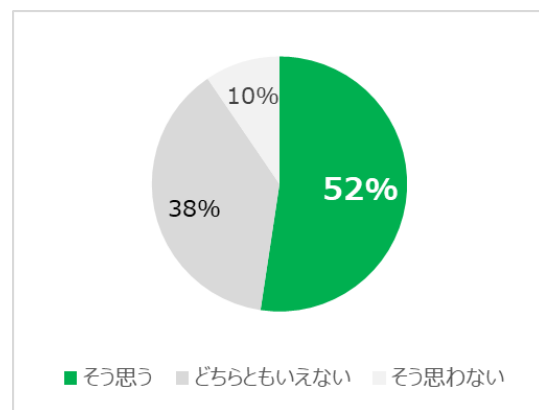


図 3: 口を閉じて食べるようになったと思う保護者の割合 (n=21)

* 5段階の質問に対し、TOP2を「そう思う」、BOTTOM2を「そう思わない」としたときの割合

これらの検証結果から、噛むことの大切さを楽しく学習できる教育プログラムとして、一定の効果と受容性があることを確認できました。

当社は、今後も「健口スマイル推進事業」を通じ、一人ひとりの前向きな予防歯科習慣づくりを引き続き推進してまいります。

公益社団法人山口県歯科医師会 小山会長コメント



令和3年、幼稚園、保育園、認定こども園とその保護者に対して、口腔衛生と口腔機能についてアンケートを実施した結果、口腔衛生よりも口腔機能の問題が浮き彫りになりました。そのため、対象園児たちが小学生になり、さらに乳歯からの生え替わりに合わせて、グミを利用したトレーニングを新たに開始しました。まず、3小学校において始めた結果、1か月でポカンと口を開けて授業を聞いている子どもたちがいなかったことに驚きました。来年度は山口県において40校程度でトレーニングをする予定です。将来全ての小学校でグミトレーニングが広まり、子どもたちの口腔機能が向上することを願っています。

「健口スマイル推進事業」とは

公的機関（山口県・山口県歯科医師会・山口県歯科衛生士会）と民間事業者（ライオン・ロッテ・サンスター・山口フィナンシャルグループ）、それぞれが持つ特性や知見を連携・融合させ、「健康と笑顔は口元から」を合言葉に、口腔衛生意識の向上を通じ山口県民の健康寿命の延伸を応援する事業です。

- (1)学校から家庭、職場における口腔ケア意識を定着化させ健康寿命の延伸を応援します。
- (2)かかりつけ医の定着による歯科定期健診の充実を目指します。

口からカラダへ。



「健口スマイル推進事業」ホームページ: <https://www.kenkoumile.jp/>

当社は、一人ひとりのライフスタイルや心身の健康状態に合わせた前向きな予防歯科習慣づくりを支援することで、人々の健康増進に貢献することを目指し、2030年に向けた「LION オーラルヘルスイニシアチブ」※2を設定しております。その一環として『おくち育』は、子どもの「やってみたい」気持ちを大切にしながら、将来の「生きる力」の土台となるオーラルケア習慣づくりに役立つ商品・サービスを提供しています。

※2 当社の中長期経営戦略フレーム「Vision2030」実現に向けたオーラルヘルス領域活動の総称

おくち育 ブランドサイト

<https://okuchi-iku.lion.co.jp/>

以上

お問い合わせ窓口

ライオン株式会社 〒111-8644 東京都台東区蔵前 1-3-28

<報道関係の方> コーポレートコミュニケーションセンター 03-6739-3443